



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

R5,2,16 No,30

「心のアンケート」結果から (パートII)

12月に、いじめの未然防止と早期解消を目的に行った「心のアンケート」(県教育委員会調査)の結果報告の2回目です。

問1 「いじめられたことがあるか」(今年度に入ってから)

ある=22人(9%)、ない=227人(91%)

問2 「誰からいじめられたか」(複数回答可)

クラスの人=15人、他のクラス(同級生)=2人、上級生=1人、クラブチームの人=5人、学校の先生=0人、地域の人=0人、他の学校の人=0人、その他=0人

問3 「どんないじめを受けたか」(複数回答可)

言いがかり・おどし=6人、冷やかし・からかい=9人、物を隠された・汚された=2人、仲間はずれにされた=4人、みんなに無視された=1人、殴られた・蹴られた=5人、お金や物を取られた=1人、笑われる・叱られることをさせられた=0人、用事を言いつけられる=0人、ネット上のいじめ=0人、その他=1人

問4 「いじめは続いていますか」

続いている=9人、続いていない=13人

問5 「相手が嫌と思うことを言ったりしったりしたことがあるか」

ある=85人(34%)、ない=164人(66%)

問6 「なぜ、相手が嫌と思うことを言ったりしったりしたか」(複数回答可)

イライラした=18人、相手に嫌なことを言われた・された=26人、遊び半分・面白かった=27人、自分がいじめられると思った=1人、けんかをしていた=21人、相手の気を引きたかった=0人、相手のためだと思った=4人、その他=3人

問7 「いじめを見たり、聞いたりしたことがありますか」

ある=32人(13%)、ない=217人(87%)

- (問1から)今年度「いじめられたことがある」と回答した子供が22人(9%)、その内、(問4から)12月現在も「いじめが続いている」と回答した子供が9人いたことは大変残念でした。この9人に対するいじめについては、担任が速やかに対応し、現在のところは解消しており、只今、3ヶ月間の経過観察中です。
- (問2から)いじめる相手は「クラスの人」が多く、(問3から)いじめの態様は「言いがかり・脅し」「冷やかし・からかい」「殴られた・蹴られた」が多いことが分かります。
- (問5から)「相手が嫌と思うことを言ったりしったりしたことがある」と回答した子供が85人(34%)、(問6から)その理由は、「イライラした」から、「相手に嫌なことを言われた・された」から、「遊び半分・面白かった」から、「けんかをしていた」からが多く、わがままや軽率、仕返しなどがその背景にあることが分かります。
- (問7から)「いじめを見たり、聞いたりしたことがある」と回答した子供がわずか32人(13%)しかいなかったことから、人は見ているようで見ていないものであることが分かります。

本校では、「いじめは絶対に許されない」を合い言葉に、「いじめ0(ゼロ)」を目指し、全ての子供を対象に毎月いじめ防止に係るアンケート調査及びそれに伴う個別面談を実施したり、全職員で子供の観察を行い、その情報を随時共有したり、道徳科及び人権同和教育を中心に、いじめをしない・させない・許さない子供づくりをしたりしています。また、児童会を中心に、子供たちが主体となったいじめ防止の取組も行われています。しかし、いじめは起きていることから、今後も粘り強く指導を重ねていくと共に指導を徹底させたり、子供の主体的な取組をより支援したりしていきます。また、我々教師(大人)が正しい言動の見本となるようにしていきます。

ご家庭でも、お子様の言動で、予断や偏見、比較、暴言などが見られましたら、その都度、言い直しをさせていただきます。よろしくお願ひします。